



# 学校だより

墨田区立第三吾孺小学校

校長 川中子登志雄

令和6年2月15日

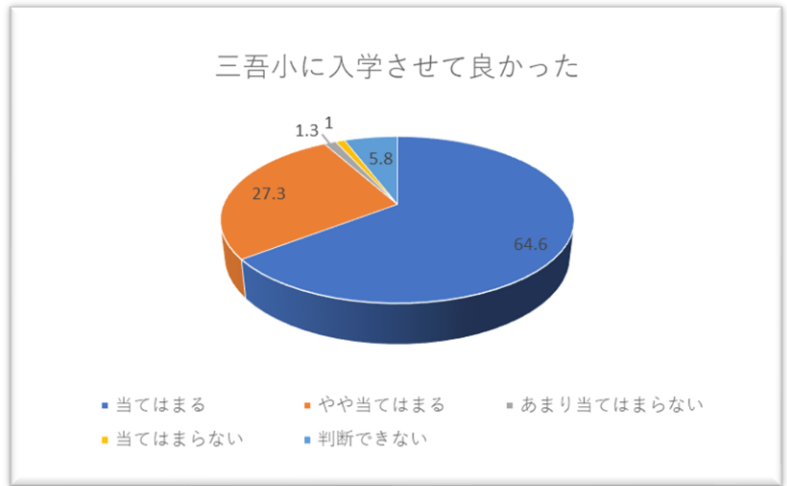
臨時号



## オンライン・アンケート回答率 92.3%を達成！

三吾小信頼度92%

令和5年度「本校の教育活動についてのアンケート（学校評価保護者アンケート）」へのご協力誠にありがとうございました。おかげさまで今年度も、お忙しい中92%を超える保護者の皆様にアンケートにご協力いただきました。これは、日本全国に数多くある学校の中でも、大変まれな高回答率で、三吾小の保護者の皆様が、「自分の子供の通っている学校を良くしようと思っている」ことの証に他なりません。大変心強く思っております。



### 令和5年度 学校評価 保護者アンケート集計結果[令和5年12月実施]

回答率(児童数)92% 昨年度88%

※ 以下は5段階で回答のアンケート結果 その他は別紙参照	単位%		肯定	昨年度	昨年度差	絶対値は高い	高ではまらない	否定	判断できない
	当てはまる	やや当てはまる							
1 学校は、積極的に教育目標を達成するための教育活動を推進している。	49.9	35.4	85.3	86.9	-1.6	2.5	0.8	3.3	11.4
2 学校は、児童の主体性を育成するために、全教育活動を通して改善に取り組んでいる。	44.0	38.7	82.7	-	-	3.3	1.8	5.1	12.2
3 学校は、基本的な人権を侵害する言動を「見逃さない、許さない」指導を徹底し、組織的に、差別やいじめの防止に取り組んでいる。	30.8	35.6	66.4	68.3	-1.9	5.3	2.5	7.8	25.8
4 学校は、個々の児童に応じた支援に取り組んでいる。(主に、不登校傾向・集団生活になじめない児童等)	27.4	26.1	53.5	53.2	0.3	6.8	2.5	9.3	37.2
5 学校は、児童の主体的・対話的な学習を促進する手立てを講じている。	38.0	38.2	76.2	-	-	5.3	2.0	7.3	16.5
6 自分の子供は、学習に向かう姿勢が主体的になってきている。(自ら進んで学習に取り組もうとしている。)	19.8	38.7	58.5	-	-	29.6	8.9	38.5	3.0
7 学校は、家庭学習を推進する手立てを適切に実施している。	20.5	39.0	59.5	84.2	-24.7	21.0	4.1	25.1	15.4
8 自分の子供は、家庭学習によく取り組んでいる。	19.5	38.0	57.5	78.8	-21.3	25.1	14.9	40.0	2.5
9 学校は、アンケート、校長「語りサロン」などにより、積極的に保護者の意見を取り入れ、学校の経営改善に取り組んでいる。	47.1	30.1	77.2	81.6	-4.4	1.8	0.7	2.5	20.3
10 学校は、学校公開、学校だより、ホームページ、メール、校長室動画通信、保護者会、個人面談などにより、積極的に教育活動や内容の情報発信に努めている。	75.4	20.2	95.6	95.9	-0.3	1.0	0.8	1.8	2.5
11 上記の取組により、学校の取組や様子を把握できている。	38.5	50.4	88.9	91.8	-2.9	4.5	2.0	6.5	4.6
12 自分の子供を第三吾孺小学校に入学させてよかった。	64.6	27.3	91.9	93.6	-1.7	1.3	1.0	2.3	5.8
13 子供の自己肯定感を高めるために、主体性(自ら学び、考え、行動する姿勢)が重要だと思う。	64.6	29.4	94.0	-	-	2.3	0.3	2.6	3.6
14 自分の子供は自己肯定感が高い方だ。	14.2	39.7	53.9	-	-	32.7	6.8	39.5	6.6
15 自分は、子供に意思決定の選択をさせている方だ。(子供がどうしたいのかを確認している方だ。)	24.3	57.5	81.8	-	-	11.6	2.0	13.6	4.6
16 学校からのCOCOOメールはいつも確認している。	43.0	43.3	86.3	-	-	10.9	2.0	12.9	0.8
17 保護者として、子供の通っている学校をよりよくしたいと思う。	64.6	30.1	94.7	-	-	2.0	0.5	2.5	2.8
18 保護者として、学校の教育活動に協力したいと思う。	33.7	47.6	81.3	-	-	8.4	2.3	10.7	8.0
19 教職員の働き方は改善が必要だと思う。	23.8	26.1	49.9	-	-	8.3	2.3	10.6	39.5

今年度第三吾嬬小学校は様々な改革に取り組んでおります。今回のアンケートは、その改革の方向性や、ここまでの取組状況に対する保護者の皆様のご意見を伺う、大変重要なものでした。以下に、結果の分析と今後の改善の方向性についてお知らせします。

## ○取組指標（質問1, 2, 3, 4, 5, 7, 9, 10）から見えること

学校の取組状況については、「児童の主体性の育成」というテーマを掲げて取り組んだ今年度の課題が明らかになりました。特に大きなものは、質問7の家庭学習の推進に関するもので、昨年度までの同質問の結果から-24.7ポイントのダウンとなりました。学年ごとに家庭学習について考えてまいりましたが、残念ながら学校全体としての方向性を示すことができませんでした。保護者の皆様の評価はもっともなものであると真摯に受け止め、今後の取組を進めてまいります。



また、基本的人権の尊重に関する質問3、個に応じた支援に関する質問4については、昨年度までと同様、「判断できない」と回答された方が多い結果となりました。しかしながら、ご自身で判断された方の実質的な肯定的回答は質問3が89.5%、質問4が85.2%と、概ね高い評価をいただいております。ただ、自由意見にも多く見られましたが、10%を超える否定的回答があることは看過できません。今後も、学年を中心に、学校全体で組織的に対応していきます。

## ○成果指標（質問6, 8, 11）から見えること

学校の取組によって、子供たちにどのような変容が見られたか、保護者との協力体制が確立されているかを見る成果指標からは、研究1年目の現状が見えてきました。質問6「学習に向かう姿勢が主体的になってきている」に肯定的回答をされた保護者の皆様は58.5%で、約6割と、予想以上に高い結果となりました。質問8の家庭学習の状況については、昨年度比で-21.3%と大幅に下がり、「(あまり)当てはまらない」と回答された方が40%と、最も高い値になりました。学校の取組が満足いくものではなかったための当然の結果として、今後の改善が必須の事項です。これらの結果を受け、現在、来年度の学校経営案を作成しております。子供たちが主体的に学習に取り組む習慣を身に付けられるよう、研究を深め、改革を進めてまいります。

## ○意識調査から見えること

質問13から19については、現在の保護者の皆様の意識について調査させていただきました。

「主体性の育成」という方向性について、保護者の意識はどうかを問うた質問13では、94%の保護者の皆様が学校と同じ方向を見てくださいというところがわかり、安心いたしました。自分の子供の自己肯定感の高さについては、54%の保護者の皆様が肯定的回答をされている一方40%の保護者の皆様が「(あまり)当てはまらない」と回答されました。また、「子供に意思決定をさせている」と回答された家庭は82%で、予想外の高さに驚かされました。学校の進めている取組と、家庭での子育ての方針が一致していくことが子供の成長を強力にバックアップするものと思います。



また、質問17では、94.7%もの皆様が「保護者として、子供の通っている学校をよりよくしたいと思う」と回答されました。今回の学校評価オンライン・アンケートへの回答率が92.3%と高かったことと合わせて、現在の三吾小の「学校力」の高さは、保護者の皆様のご協力のたまものと、教職員一同大変嬉しく、心強く思っております。

また、今回の意識調査の最後に、教職員の働き方は改善が必要かという質問を

させていただきました。結果は、約4割の方が「判断できない」と回答されましたが、実質回答の82.5%が「(やや)当てはまる」と回答いただきました。教職員の働き方については、昨今メディアでも随分取り上げられるようになり、社会的な認識も高まってきているところですが、第三吾嬬小学校では、昨年度第6回校長「語らいサロン」でこのテーマを取り上げ、保護者の皆様にも一緒に考えていただきました。子供たちにより良い教育を行うには、先生が元気であることが絶対必要条件です。学校でも、働き方改革に取り組んではおりますが、なかなか目に見える効果には結びついておりません。こちら、学校では努力を続けてまいりますが、保護者の皆様のご理解をいただければ幸いです。

令和4年度第6回校長「語らいサロン」 《教員の働き方の現状について》

当日の様子 <https://www.sumida.ed.jp/sanazumasho/shokai/R2salon.files/R4sixthsalon.pdf>

プレゼン資料 <https://www.sumida.ed.jp/sanazumasho/shokai/R2salon.files/R4sixthppt.pdf>

## ○自由意見から見えること

今回も150件を超える貴重なご意見をお寄せいただきました。

今回のアンケートは、直前に臨時保護者会を開催し、今年度の取組についてご報告させていただきましたので、学校の研究テーマ「児童の主体性の育成」についてのたくさんのご意見をいただきました。そのほか、担任の指導についての厳しいご指摘と、PTA活動や町の子ども会のことについてのご意見も多数見受けられました。ここでは、いくつかの主なご意見を紹介いたします。詳しくは、1月に実施しました第6回校長「語らいサロン」で、できるだけ多くのご意見を紹介し学校の考えをお伝えしましたので、そちらもご覧いただければ幸いです。

令和5年度第6回校長「語らいサロン」 《保護者アンケート・自由意見について》

当日の様子(動画) <https://www.youtube.com/watch?v=YQKI0a0IoKA>

### 《主体性の育成について 家庭の役割》

「子供達がこれからの時代を生き抜く為には、今までと同じ教育や環境のままでは足りないのかもしれないと感じました。(中略)ダブルスタンダードになって子供が混乱しないよう、家庭でも学校と足並みを揃えた環境で子供に接して行きたいと思っています。」

「主体性を育成する活動に、とても共感もて、協力してぜひ実現させたいと思いました。しかし、現実的に家庭ではどう接すればいいのかと改めて考えさせられました。(中略)せっかく学校で主体性を持たせようとしているのに家庭で足を引っ張ってしまうのではないかと心配になりました。家庭でも手探りですが、今後も、学校からは関連の情報を発信して頂き、子供の主体性育成が実現できるように協力していきたいと思いました。」

### 《主体性の育成についての「不安」》

「この学校では良いが卒業後、主体性を出して行った結果、中学等でいじめの標的にならないか心配である。」

「学校が行っている子供の主体性を重んじる教育活動への改善には賛成です。しかし、中学高校と教育現場が変化していく中で統一性が無いと、本人が戸惑うのでは?と疑問に思うところもあります。今後、中学高校もこのような改善がなされていくのでしょうか?」

「3年後に中学校へ進学したときに、他の小学校の生徒の学び方や中学校の授業に



対する方針が、第三吾孺小学校と大きく違った時に、子供たちが混乱してしまうのではないかと心配しています。」

「今後、主体性や行動力ばかりが評価の対象になってしまうと、なかなか殻を破れない引っ込み思案の子供の評価は下がってしまうのではないか。いつ芽が出るかは個人差があるので。純粋にテストの点数など、学力での評価を蔑ろにしないでほしいなと思います。」

「我が子の場合は、以前に比べ、必要最低限のことしか(出された宿題しか)やらなくなってしまったように思います。自主学習に関しても1.2年生の頃の方が積極的によく取り組んでいました。学年が上がるにつれ、行動範囲や興味も広がるため、他のことに興味が広がり、学習に対する意識が低下しています。主体性は大切ですが、学習面に関しては必要量はやってもらいたい(導きたい)というのが親の本音です。やる子とやらない子の差が広がるのは心配です。」

「主体性も大切だとは思いますが、主体性を大切にするあまり宿題が通常の学習と異なることが多いため、通常の学力を伸ばすような学習も大切にしたいと考えます。これから先の、中学～大学までの学習は、小学校で学ぶことが基礎となるため、小学校での学習が大変大切なものと考えているので、通常の学力を伸ばす学習にもぜひとも力を入れていただきたいと考えております。」

### 《担任の指導について》

「〇年〇組は暴力行為が横行しているようで心配しています。大きな事故が起こる前に何かしら対策を取るべきだと考えております。(補助の先生がつく、親がいつでも参観できる環境にする…等) できることがあるなら協力は惜しみません。子どもが故意に危険な目に遭うのも、痛い思いをするのも、自尊心を傷つけられるのも望みません。安心して通えるクラス、学校になればと心より願っております。」

「担任の先生の実力によってかなり差が出ているように感じます。(中略) 今現在もクラスには、集団生活に馴染めない子がいるのは理解できますが、その子に危害を加えられ、我が子が傷付いて帰ってくる事は理解出来ません。『普通』とは何だろうと考えた時に、我が子が傷付いて帰ってくる事を『普通』だとは容認できません。」

「子どもに接する先生の対応の差がありすぎるように感じます。子どもの気持ち大切にされていないように感じる出来事が多々あり、正直不安を感じています。(中略) 三吾小に子どもを通わせてこんなに不安を感じているのは初めてです。先生は、子どもにとってとても大きな存在です。子どもの気持ちを大切に頂き、子どもが楽しく学校に通えるような環境を願っています。」

\*同様のご意見を複数いただきました。

### 《PTA活動、子ども会について》

「PTAの在り方を今一度考えなおして欲しいです。必ずやらなければいけないシステムではなく、外部委託や、お手伝いといった形など色々あると思いますが、強制ではなくお手伝いの方がハードルが下るように思います。活動が好きな人・やりたい(子供と参加したい)人は結構いると思う...今は仕事を持っている人が多く、更に介護に育児。地区の活動も多くかなりしんどい。多子世帯なら特に色々破綻しかねない。」

「今子供会の班長なのですが、登校班当番が働いているのでとても勤務の負担になります。また他の方にスケジュールを確認し当番表を組むのも負担です。子供の安全のためというのは分かるのですが実施しない月もございます。今後なくす事はできないのでしょうか? 当たり前親がやらなくてはいけないという決まりが不思議です。」

「近隣小学校に比べてPTA等も積極的なので、子供が地域に関わる機会が多く感じます。しかし、一方でPTAや子ども会が負担に感じることもあります。先日も副会長の候補にくじ引きで選ばれたと連絡が来て活動内容を伺いましたが、もし本当にやることになったら家庭も仕事も犠牲にするような内容で驚きました。」

\*これらのご意見はPTA会長及び各子ども会地区長に情報共有させていただきました。

